

ハードロックⅡ／デンカDK550-04S 用 硬化遅延剤 ご使用方法

ハードロックⅡ「デンカ DK550-04S」は 30℃以上の可使時間が短くなる傾向にあります。つきましては、高温時に十分な可使時間を確保するため、「専用硬化遅延剤」を常時オプションで同封しております。
本取扱説明書をよく読みご使用頂きますよう、お願いいたします。

① デンカ DK550-04SA 1.0kg に対し、デンカ DK550-04S 用硬化遅延剤を 1～2wt% (10～20ml) の割合で添加し、均一になるまでハンドミキサー等で約 2 分間混合してください。デンカ DK550-04S 用硬化遅延剤 は添付の注射器で添加してください。 (10g=10ml)



② デンカ DK550-04S 用硬化遅延剤 を添加・混合した デンカ DK550-04SA 1.0kg に、デンカ DK550-04SB を 1.0kg 添加し、均一になるまでハンドミキサー等で十分に混合してください。



③ 通常通りご使用いただけます。デンカ DK550-04S 用硬化遅延剤 を A 剤 1.0kg に対し 1～2wt% (10～20 ml) の割合で添加した場合の可使時間と硬化時間の目安は次ページの表の通りです。

表 デンカ DK550-04S 用硬化遅延剤添加量と可使・硬化時間の目安

温度	デンカ DK550-04S 用硬化遅延剤添加量 (A 剤 1.0kg に対して)			
	未添加	1wt% (10 ml)	1.5wt% (15 ml)	2wt% (20 ml)
	<u>可使時間</u> / 硬化時間 (分)			
25℃	<u>20</u> / 35	<u>25</u> / 40	<u>40</u> / 70	—
35℃	<u>10</u> / 20	<u>12</u> / 25	<u>20</u> / 35	<u>40</u> / 65

※ご注意事項

- ・ 付属の硬化遅延剤以外を使用すると硬化しなくなります。
- ・ 硬化遅延剤を所定量以上添加すると硬化しなくなります。
- ・ 硬化遅延剤はデンカ DK550-04SA と混合する様にして、デンカ DK550-04S B とは混合しないで下さい。
- ・ デンカ DK550-04S 用硬化遅延剤とデンカ DK550-04SA の混合は必ずハンドミキサー等の電動混合機を用いて下さい。手作業での混合は、混合不良により硬化不良が生じる可能性がありますので、行わないで下さい。
- ・ 硬化遅延剤は気温が 25℃以上の時にご使用下さい。
気温が低い時に使用すると硬化しなくなります。
- ・ デンカ DK550-04S 用硬化遅延剤を添加したデンカ DK550-04SA は、12 時間以内にデンカ DK550-04SB と混合する様にし、翌日の施工には持ち越さないで下さい。
- ・ デンカ DK550-04S 用硬化遅延剤を添加したデンカ DK550-04SA は、気温が 25℃を下回る際は使用しないでください。